

平成21年 大分県の海面漁業・養殖業生産量（概数）

－海面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ4%減少－

【調査結果の概要】

- 平成21年（1～12月）の海面漁業・養殖業の生産量は6万83tで、前年に比べ2,184t（4%）減少しました。
- 海面漁業の漁獲量は3万8,418tで、前年に比べ4,553t（11%）減少しました。
これを漁業種類別にみると、採貝・採藻、その他の釣、近海まぐろはえ縄等で減少しました。
魚種別では、いわし類、えび類、貝類等で増加しましたが、あじ類が大幅に減少したのをはじめ、海藻類、たちうお等が減少しました。
- 海面養殖業の収穫量は2万1,665tで、前年に比べ2,369t（12%）増加しました。
これは、くるまえびで減少しましたが、ぶり類をはじめ、ひらめ、のり類等で増加したためです。

区分	部門別生産量				単位 { 生産量: t 比率: % }	
	平. 21	20	対前年差	対前年比	構成比(平. 21)	
総生産量	60 083	62 267	△ 2 184	96	100	
海面漁業	38 418	42 971	△ 4 553	89	64	
海面養殖業	21 665	19 296	2 369	112	36	

注：ラウンドのため、総生産量と内訳は一致しない場合があります。

【解説】

1 海面漁業

海面漁業の漁獲量は3万8,418tで、前年に比べ4,553t（11%）減少しました。

主な漁業種類別・魚種別は、次のとおりです。

(1) 主な漁業種類別漁獲量

ア 小型底びき網

漁獲量は3,474tで、前年に比べ196t（5%）減少しました。

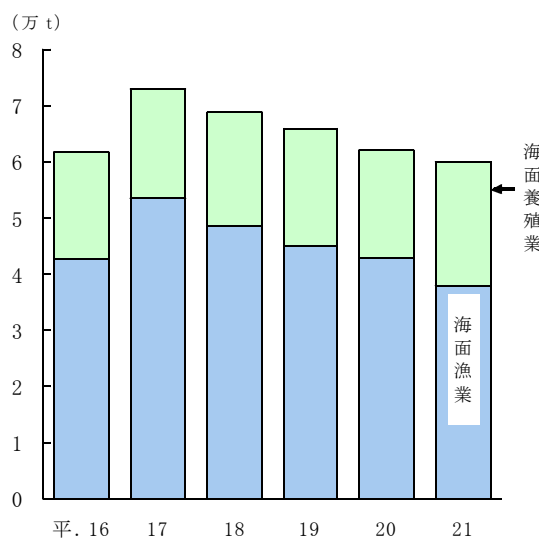
これは、えび類（主にその他のえび）、すずき類等で増加したものの、たちうお、ひらめ、かれい類（主にかれい類）、その他の魚類等で減少したためです。

イ 船びき網

漁獲量は4,990tで、前年に比べ203t（4%）減少しました。

これは、たい類（主にまだい、ちだい・きだい）、このしろ等で増加したものの、いわし類、たちうお等で減少したためです。

海面漁業・養殖業生産量の推移



この資料は九州農政局ホームページでご覧になれます。

【 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/> 】

ウ まき網

漁獲量は1万3,784 tで、前年に比べ636 t (5%)増加しました。
これは、あじ類、その他魚類等で減少したものの、いわし類が増加したためです。

エ その他の刺網

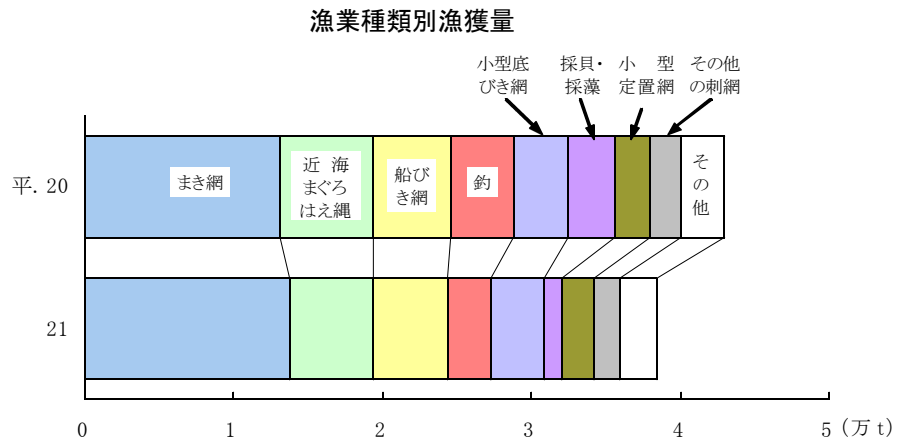
漁獲量は1,768 tで、前年に比べ344 t (16%)減少しました。

これは、いさきで増加したものの、あじ類、ひらめ、かれい類、すずき類等で減少したためです。

オ 小型定置網

漁獲量は2,114 tで、前年に比べ210 t (9%)減少しました。

これは、いわし類(主にかたくちいわし)、たちうお等で増加したものの、あじ類、かつお類、ぶり類等で減少したためです。



カ 近海まぐろはえ縄

漁獲量は5,573 tで、前年に比べ675 t (11%)減少しました。
これは、まぐろ類全てにおいて(主にくろまぐろ)減少したためです。

キ 釣

漁獲量は2,978 tで、前年に比べ1,262 t (30%)減少しました。
これは、いさき、さば類で増加したものの、たちうお、あじ類(主にむろあじ)、ぶり類等で減少したためです。

(2) 主な魚種別漁獲量

ア いわし類

漁獲量は1万1,067 tで、前年に比べ2,325 t (27%)増加しました。
これは、まき網、定置網等で増加したためです。

イ まぐろ類

漁獲量は5,151 tで、前年に比べ929 t (15%)減少しました。
これは、全てのまぐろ類で、減少したためです。

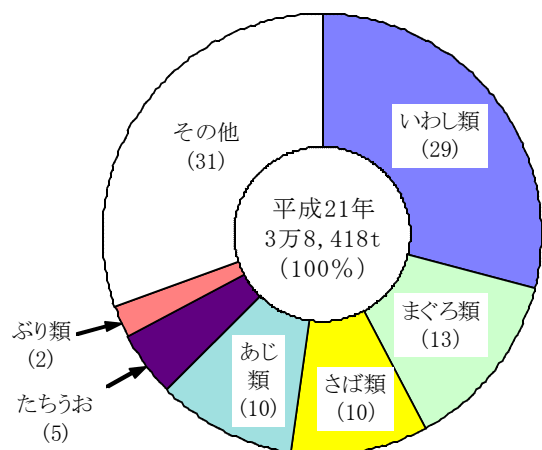
ウ さば類

漁獲量は3,909 tで、前年に比べ359 t (8%)減少しました。
これは、主にまき網での漁獲量が減少したためです。

エ あじ類

漁獲量は3,892 tで、前年に比べ2,027 t (34%)減少しました。
これは、まあじ及びむろあじ類で減少したためです。

主要魚種別漁獲量の構成比



オ たちうお

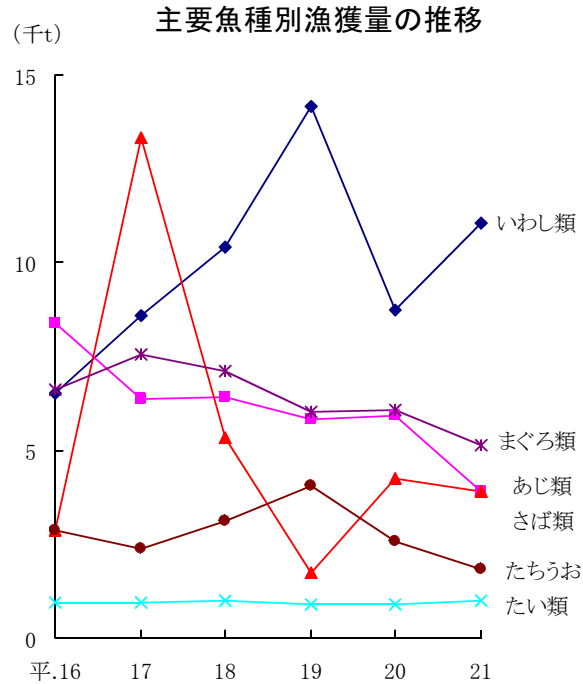
漁獲量は1,838 tで、前年に比べ711 t (28%) 減少しました。

これは、釣、小型底びき網等で減少したためです。

カ たい類

漁獲量は972 tで、前年に比べ74 t (8%) 増加しました。

これは、釣等で減少したものの、まき網、船びき網等で増加したためです。



2 海面養殖業

海面養殖業の収穫量は2万1,665 tで、前年に比べ2,369 t (12%) 増加しました。主な養殖種類別は次のとおりです。

(1) ぶり類

収穫量は1万7,799 tで、前年に比べ2,122 t (14%) 増加しました。

(2) まだい

収穫量は1,004 tで、前年並みとなりました。

(3) かき類 (殻付き)

収穫量は120 tで、前年に比べ32 t (36%) 増加しました。

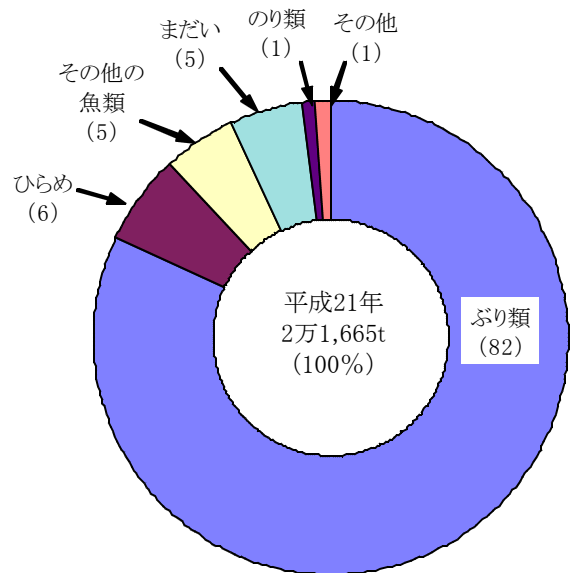
(4) くるまえび

収穫量は75 tで、前年に比べ20 t (21%) 減少しました。

(5) のり類

収穫量は322 tで、前年に比べ7 t (2%) 増加しました。

海面養殖業種類別収穫量構成比



【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は海面漁業、海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の資料を整備することを目的としています。

2 調査の対象

本調査は、原則、水揚機関を対象とし、水揚機関で把握できない場合に限り、海面漁業経営体を対象としました。

3 調査期間

平成21年1月1日から12月31日までの1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚げのために港に入港した日の属する年に含めて調査を行いました。

4 調査方法

調査員調査及び往復郵送調査により実施しました。

5 その他

この資料は概数値であり、確定値については、追って刊行する「第57次大分農林水産統計年報」に掲載します。

- 生産量は、「t」単位とし（真珠養殖を除く）、単位未満を四捨五入したため計と内訳が一致しない場合があります。
- 生産量のうに類、貝類は、殻付き重量、海藻類は生換算重量です。
- この調査結果は、生産物を採捕した漁業経営体の所在地に計上したもので、いわゆる属人統計です。
- この資料は九州農政局ホームページでご覧になれます。

【 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/> 】



問い合わせ先

◎ 本調査結果について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部
生産流通消費統計課

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820

◎ 農林水産統計全般について

連絡先:九州農政局 大分農政事務所 統計部
統計企画課

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820